

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

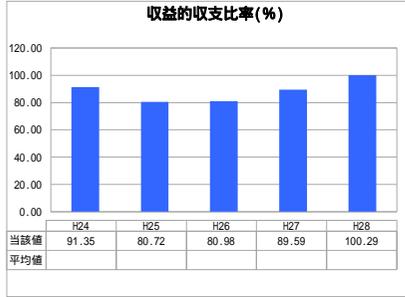
佐賀県 白石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	20.39	92.12	3,672

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
24,010	99.56	241.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,865	2.54	1,915.35

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
類似団体平均値(平均値)
【】平成28年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



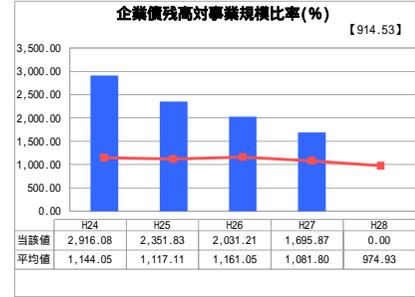
「単年度の収支」



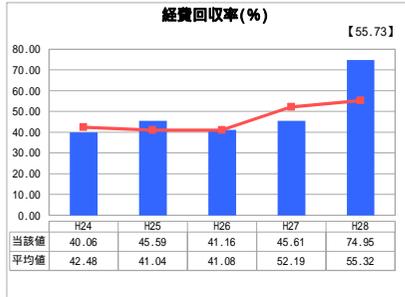
「累積欠損」



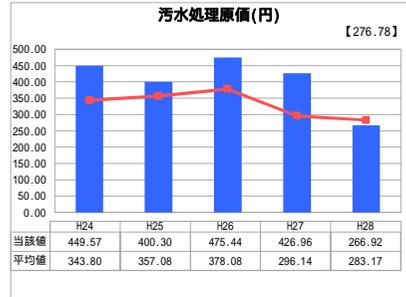
「支払能力」



「債務残高」



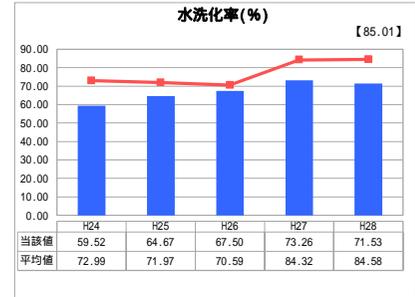
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

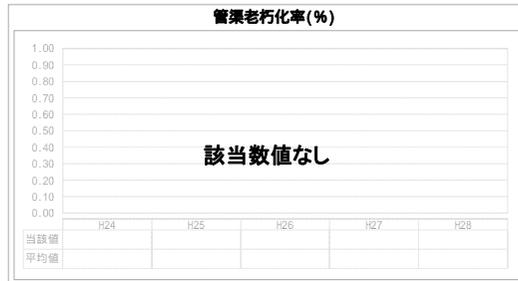


「使用料対象の捕捉」

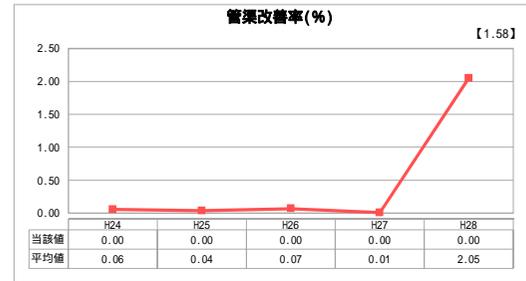
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業においては、平成24年6月に須古地区水処理センターの供用開始をもって、整備事業が完了した。平成24年～26年度については、須古地区の接続促進のため、下水道使用料の減免を行ったため、維持管理費の伸びに対して使用料の伸びが鈍く、収益的収支比率が落ち込んでいるが、減免期間が終了となった平成27年度以降には、収益的収支比率が回復している。

平成28年度からは、国からの指定により基準内繰り入れの見直しのため が改善され、黒字になっているが、維持管理費等の費用は使用料で賄うことができず、一般会計からの繰入金等に依存している。

類似団体平均値よりも、施設利用率が低く水洗化率も低いので、有収水量確保のため処理施設の処理能力内での新規加入の促進を図ることがこれからの課題である。

### 2. 老朽化の状況について

農業集落排水事業においては、4か所の処理施設があるが、供用開始から17年が経過した施設もあり、経年劣化や老朽化が進行している。平成27年度から、施設の機能強化事業を実施し、硫化水素対策装置の設置など処理場の腐食対策等を行い、施設の長寿命化を図っている。

### 全体総括

今後も継続して接続促進を図り、有収水量の確保と水洗化の向上に努め、経営の健全化に努める。機能強化事業に取り組むとともに、施設利用率が低い施設については、統合も含めて検討し、下水道事業の経営効率化を図る。

平成30年度は、前年度に引き続き未接続世帯への広報活動を行い、接続を促進する計画としている。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。  
平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。